

米沢市教育振興基本計画検討委員会（第3回）会議録

日時 令和2年6月24日（水）

開会 午前10時00分

閉会 午前11時31分

場所 置賜総合文化センター
203研修室

1 出席委員

委員長	大木 晃	委員	金子 明夫	委員	菅原 延昭
委員	亀岡 淑子	委員	木島 龍朗	委員	小野 弘子
委員	色摩 安紘	委員	遠藤 正紀	委員	須藤 輝美

2 出席職員

教育管理部長	渡部 洋己	教育指導部長	今崎 浩規
教育総務課長	小田 浩昭	社会教育課長	梅沢 和男
スポーツ課長	佐藤 幸助	文化課長	佐藤 恵一
学校教育課長	山口 まゆみ	教育総務課長補佐	米原 裕美
教育総務課総務主査	佐藤 真英	教育総務課主査	伊藤 和香子

3 協議

- (1) 教育大綱について
- (2) 教育振興基本計画の基本施策（案）について
 - ①文化芸術分野
 - ②スポーツ分野
- (3) その他

4 その他

5 閉会

教育総務課長補佐 第3回米沢市教育振興基本計画検討委員会を開催いたします。進行を務めます教育総務課の米原と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。本日、聖山委員、宇山委員、中田委員につきましては都合により欠席でございます。では、早速であります協議に移ります。本日は、この度、改定しました教育大綱について説明した後、この教育大綱を基本として策定してまいります教育振興基本計画の文化芸術分野とスポーツ分野の基本施策等についてご協議いただきます。それでは協議につきましては大木委員長よろしくお願ひいたし

ます。

委員長 はい。それでは協議に入ります。初めに次第の（１）教育大綱について事務局から説明をお願いします。

教育管理部長 本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの関係で様々な会議が開催できない中、この検討委員会についても予定より遅れた開催となり、前回の会議から少し時間が空いてしまいましたが、今年度の策定に向けて、また検討をお願いいたしますのでどうぞよろしくをお願いいたします。それでは、教育大綱についてご説明させていただきます。

——資料により説明——

委員長 ありがとうございました。教育大綱について説明がありましたが、委員の皆様からご質問等ございますでしょうか。では、この大綱を受けて米沢市教育振興基本計画を検討していきたいと思えます。（１）の教育大綱については以上とさせていただきます。続いて、次第の（２）教育振興基本計画の基本施策案の協議に移ります。初めに、事務局から計画の体系について説明をいただいてから①文化芸術分野の説明をお願いします。

教育総務課長 計画の体系についてご説明させていただきます。資料５をご覧いただきたいと思えます。

——資料により説明——

委員長 はい。ありがとうございました。全体の体系図を説明いただきましたが、何かご質問等ございますでしょうか。では、①の文化芸術分野の説明をお願いいたします。

文化課長 文化芸術分野についてご説明させていただきます。

——資料により説明——

委員長 文化芸術分野の基本施策等案について、委員の皆様からご意見、ご質問をお願いいたします。

委員 子ども達の郷土への誇りや愛着を養うことはとても大事なことだと考えています。子ども達が米沢市の伝統芸能や史跡等を学習する機会を設け、文化財等を身近に感じられる環境整備をしていただけると大変有難いと考えています。私たちが米沢市の文化財、伝統文化に気付いて、もっと理解していかなければならないと考えているところです。そういった活動を通して、ふるさと米沢を愛し、米沢の良さを語るができる子ども達を育てていきたいと考えています。

委員 芸術文化協会が高齢化、メンバー減少で大変な状態だというお話がありました。私たちはここ２、３年一所懸命にメンバーを増やしていくことに取り組んでまいりました。例えば、県の施策に従い、学童クラブにご協力をいただき、お花や習字、尺八を体験していただくなどして、子ども達に伝統文化を伝えていく

にはどうしたらいいかという方策をしてみいました。そういう努力をしていくのはもちろんですが、一方で、もしかしたら今の若い人は興味や志向が多様化して、以前のように大勢で集まって、同じことをするということが敬遠されるようになってきたのではないかと思います。それを私たちは悲観していたのですが、そうではなく、生活のあり様が変わってきたのではないかと思います。若い人は米沢市内に留まらず、県外や全国区に渡って仲間を募ったりして、やりたいことをやっている人というのは案外多いのではないかと思います。また、新型コロナウイルスの影響でオンラインが活用されています。ニュース等を見ると中央の方からも素晴らしい指導を受けられるということで、益々その傾向が強くなっていくのではないかと思います。米沢市の状況を見ますと、10代は学校教育で文化活動をしていますし、70、80代の方も行政の目が届きやすくなっているのですが、もしかしたら20代から50代の働いていて忙しい方々が、そこに目が届いていないのではないかという気がいたします。そういう方々が米沢で仕事以外にも楽しく自分の趣味や趣向で充実した生活が送れると、米沢って本当に良いなと思ってくれるのではないかと思います。それが人口増加にもつながっていくのではないかと感じます。行政としては若い人のニーズがどのようなものがあるのか、どのような活動を行っているのか把握すると同時に中央とパイプをつないで素敵な活動を提供できるということを提示していくことも大事だと思います。守りに入るだけでなく、新しいあり様を開拓していくことも必要だと思っているところです。

委員長 ありがとうございます。ニーズが変わってきているのではないか。そういうことを把握することが大切なのではないかとのご貴重なご意見をいただきました。事務局から何かありますか。

文化課長 ありがとうございます。団体に属さず個人的に活動される方も多いのですが、若い方がどういう方法で芸術活動等をしているかなど調べて活動の活性化を模索していきたいと思います。

委員 価値観の違いだと思ったのですが、芸術文化分野は芸術、伝統文化、歴史というものが出てきて大事なことだと思いますが、食文化というのも文化だと思っています。県外から来ている学生が多いのですが、米沢の芸術や歴史に興味があるかというところ少し微妙です。でも、ラーメンを食べに行くとか食には興味があるようです。基本理念に「米沢品質」という言葉がありますが、いい言葉だと思います。「米沢産」というノートパソコンが売られていますが、高価なパソコンで、品質も非常に良いものです。「教育の米沢品質」という言葉は良いのですが、どこまで市民権を得ている言葉なのか心配です。もっと広めなくてはいけないのではないかと思います。品質といったときに食物をもっと入れて宣伝したらいいのではないかと考えました。米沢には有名な食物がたくさんあります

ので、もっと発信してもよろしいのではないのでしょうか。

委員長 新しい切り口として、食文化もあるのではないかというご意見をいただきました。事務局いかがですか。

文化課長 ありがとうございます。国の文化芸術基本法でも、ご指摘のとおり芸術文化は従来の芸術文化活動だけでなく、広範囲に及ぶということがうたわれておりますので、何らかの形で取り上げさせていただければと思います。学校教育では食育という観点もございますので米沢の郷土食とのつながりも出てくると思います。

委員 米沢市民文化会館を利用した発表や催物がありますが、南陽市は若い人たちに好まれる歌手を呼んでいます。米沢市はそうではないので、これでは若い人が定着するわけがないと感じます。その辺をもう少し考える必要があるのではないかと思います。

文化課長 ありがとうございます。芸能プロダクションのほうで興行ということになりますと、施設規模によりましてそうなるのかと思いますが、市としましては経費の問題ではなく、市民の方にこういうものを提供したいということで市民文化会館では年2本程、伝国の杜では6本程自主事業として様々な分野の事業を展開させていただいておりますので、その中で考慮していきたいと思っています。

委員 子どもの時代に観たものは非常に心に焼き付きます。私が小学校の時に体育館で観せてもらったものに狂言がありました。「附子」という狂言でしたが鮮明に残っております。また、子ども達と「森は生きている」というミュージカルを観に行った時に子ども達の反応がすごく早いのです。例えば、私たちがおかしいなと思う前に笑い声を立てる、その後にその笑いのツボになるようなものが演出されるというようなことで、子ども達の感覚ってすごいなと思ったことがあります。今も演劇教室で小中学生に観せてくださっていると思いますが、もっともっと後押しして子ども達の心に残る本物のものを見せていただけたらうれしく思います。

委員 山上地区は東海市と交流があり、普門院や羽黒神社という文化財があります。子ども達は小さな頃からそこのお祭りに行ったり、遊んだりして身近に感じていると思います。20年前に敬師太鼓を立ち上げまして、小学校の子ども達と敬師太鼓をつないでできているのですが、基本方針の中に東海市の細井平洲先生の思いも詰まっているので大変ありがたいと感じています。小学校が統合されることになり、今年は新型コロナウイルスの影響もあって太鼓の活動ができていないのですが、山上地区に限らず、今後、小学校が統合されるようになった時に伝統文化、伝承文化を上手くつなげていくようなことが、先程の保存活用地域計画の中に具体的に示されていると、長くつながっていくのではないかと期待

しているところです。

委員 地域の伝統文化は、地域の人たちのつながりを強くします。それから地域の活性化に結び付くという意味でとても大事なことだと思います。綱木の獅子踊りはそのためにわざわざ帰っていらっしゃるということもお聞きしております。敬師太鼓にしろ、豊穰太鼓にしろ、習っている子ども達は地域の人たちとの関わりの中で育っていると思っています。地域のいろいろな良さを知るという意味でも子ども達と伝統文化のつながりは大事だと思いますのでバックアップを強くしていただきたいと思います。

委員長 ありがとうございます。芸術文化活動についてのご意見はよろしいでしょうか。では、続きましてスポーツ分野について説明をお願いします。

スポーツ課長 資料4をご覧ください。本市のスポーツの現状と課題についてご報告いたします。

——資料により説明——

委員長 それでは、皆様からご質問、ご意見をお願いいたします。

委員 総合型スポーツクラブについて、もう少し詳しくご説明いただくと同時に米沢での実情を教えてくださいたいと思います。

スポーツ課長 米沢市には4つの総合型スポーツクラブがございます。まず、年代、地域、競技種目を限定することなく自由にスポーツに関わっていただくということを主な目的として組織されている団体です。当初は1つのクラブでサッカーや陸上など少年団に該当するような子どもさんや社会人等様々な方が加入していただいておりますが、現在は加入者が少なくなっており、サッカー、陸上、飛び込み等の種目に特化したような現状でございます。

委員 それは、いわゆるスポーツ少年団のようなクラブ的な活動をしており、営業とは別という形ですか。

スポーツ課長 営利目的ではありません。

委員 市長さんが、常に健康社会とおっしゃっていますので、この中に健康志向の高まりということが出てきて安心しました。新型コロナウイルスの影響で世界的に大変な状況になっているわけですが、まず、命が大切だということです。私は40年くらい前にオーストリア分校に半年程滞在していたことがあります。その関係から今も交流があり、ヨーロッパでも大変な状況になっていますがスポーツは消せないと言っています。ここ何か月かの中で大幅に体を鍛えることができなくなったところが世界中でたくさんあることから、体が鈍るだけでなく精神的にも落ち込んでいるようなことが増えています。この状況が収束した後にはスポーツに対する関心が高くなるようにと向こうでも話していただきました。サッカーフィールドができて大学のチームが来てくれるようになりましたが、練習会場の提供だけでなく、米沢の文化にも触れてもらえることは大変

良いことだと思っています。また、東京オリンピックの候補者としてフェンシング選手を応援してまいりましたが、そのうちの1人が最終選考の合宿選手に選ばれたのですが、新型コロナウイルスの発生でキャンセルになってとても残念に思っています。それから県の主催でドリームキッズが小学生を中心に行われていますが、それがその選手の市町村に下りてこない状況です。テレビで見て初めて知るようなことがよくあります。県のスポーツ協会にもみんなでもっと応援できる体制にしてほしいと要望しているところです。国体の時の施設も老朽化して、これから費用がかかるわけですが、そういうことを克服して米沢市のスポーツを向上させていきたいと考えているところです。

委員 校外部がありますが、どのようなものが認められていて、何割くらいの生徒がいるものでしょうか。2つの矛盾する考え方があると思いますが、学校の部活動で勝つために一所懸命頑張っている部活もあると思いますが、高校に行くと辞めてしまう子が多く、燃え尽き症候群になっているのではないかと思います。ある期間に頑張り過ぎて、逆にそのスポーツから離れてしまうのは少し違うのではないかと思います一方で、一所懸命勝たせてあげて本当のスポーツを教えてあげたいと情熱を傾けていらっしゃる先生もいると思います。そういう2つの局面をどのように学校や教育委員会では考えていらっしゃるのか教えていただきたいと思います。

教育指導部長 校外活動はどの競技でもよく、特に縛りはありません。手元に資料がございませんのでどのくらいの生徒が校外活動をしているのかお答えできませんが中学校においてはみんなで一つの目標として勝利を目指し、勝った時の喜びを分かち合うことも教育の部分だと思いますが、部活動を通して人間形成というところが一番大事なことから各学校の顧問は子どもたちの指導に当たっていると把握しているところでございます。

委員長 生徒数が減り、チームが組めない部活がどんどん出てきています。校外活動を希望する相談があればできるだけ活動できるようにしています。この競技をしたいけれど学校に部活がないという子どもをしっかりと面倒見ていただいて、充実した活動ができる総合型スポーツクラブは大変魅力的だと感じています。

委員 スポーツジムはここには入ってこないのでしょうか。

スポーツ課長 トレーニング施設については、市営体育館と八幡原体育館に設置しております。本市はスポーツクラブジャンプさんと連携協定を結んでおりまして、インターハイや国体に出場する選手や、出場した選手は無料で使用させていただいております。

委員 単純にダイエットしたいとか、ちょっと鍛えたいということで利用できる施設はないのでしょうか。ここには関わってこないのでしょうか。同じスポーツをしていると感じるのですが。

教育管理部長 スポーツジムについては市の施設として体育館があり、民間の企業さんが運営されているものと2種類あります。この振興計画については、基本的に行政側が様々な施策を通じて市民の方々の健康やスポーツを推進するためにどうしていくかということを計画していますので、民間に働きかけをしながらスポーツの振興につながる活動であれば計画の中に入れてまいりますし、市の施設としてそういった施設を拡充したり、利用の利便性を向上させたりというような施策については、この計画の中に入れてくることになりますが、それぞれの施設を記載しているわけではございませんでしたので、その辺はご意見をいただきながら計画の表現なりは修正させて頂きたいと思えます。

委員 もう1点ですが、部活動でやれやれという気持ちもわかりますが、中にはやりたくないとか、教員からするとブラックだと言ひ、朝練や夜練までやるのはおかしいという考え方もあると思えます。逆になぜやらないのかという考えもあると思えます。その辺はどのように考えていらっしゃるでしょうか。

教育指導部長 任意の加入ですので強制はしておりません。部活動のあり方については国のガイドライや県の方針等出ておりますが、本市においても基本方針を出しております。その中で朝練はしない、平日1日と土日のどちらかは休みにするというようなルールを設けています。各教員が顧問として基本方針を基に指導しているところでございます。

委員 私の子どもの部活動は土、日曜日の練習は必ず顧問がいないとだめで、保護者も必ず1人付くということになっています。保護者にも負担があると考えの方と、そうでない方がいます。先生方は現場でどのように思っているのでしょうか。

委員長 部活動が苦になっている教員もおります。全く苦にせず、もっとやりたいという教員もおります。朝から晩まで部活をやり、子どもが疲れて寝ていて勉強ができないということが一時期ありましたので、今は国、県の指針の中で行っています。自分の得意なスポーツの顧問になれる先生は非常に幸せですが、そうでない先生が多くいるので、顧問になって初めてやるスポーツで新しい芽が生まれて幸せになる人もいれば、苦勞する人もいるという現状です。小学校も吹奏楽関係の活動が少し変わってきていますのでその辺のお話をお願いします。

委員 各小学校に吹奏楽クラブとして活動しているところもあります。数年前まで土曜日は保護者会として活動し、そこに任意で学校の職員も支援という形で携わってきたところでした。子ども達を育てること、子ども達の願いを叶えること、そして教職員としての働き方、そしてそこへの支援の仕方といったところのバランスをどう取っていくか、非常に難しいところで、各学校で話し合いを重ねて、どうにか折り合いを付けて良い方向に少しずつ進んでいるのではないかと思っているところです。保護者の方、地域の方のご意見をお聞きしながら学校

として進めていきたいと考えているところです。

委員

コミセンの文化祭に地域の小中学校に吹奏楽を演奏してもらっています。地域の方がものすごく喜んでくださいます。日曜日に先生方がたくさん来てくださるのでサービス労働になって申し訳ないと思うのですが、その時はホールが満席で立見席になる程、地域の方、保護者の方が集まってくださいます。先生方はご苦勞なさっていますが、地域としてはこのように有難い場面をいただいていることを申し上げたいと思いました。質問ですが、現状と課題の中で女性の運動不足とありますが、調査の結果なのでしょうか。コミセンやプールで活動している方を見ますと女性がとても多いのですがいかがでしょうか。

スポーツ課長

この現状と課題につきましては、無作為にアンケート調査をさせていただいておりまして、それに基づいての結果です。お仕事をなさっている年代についてはそういう傾向にあるようです。県でも同じような調査をしておりまして、そちらの結果も同じ傾向にあるようです。

委員

お話をお聞きして非常に大事なことだと思います。指導者の養成ということですが、いくらハードの部分や組織の形を整えていっても、ソフトの部分がそれに伴っていかなければということを経験から思っておりました。私の把握しているところで米沢市としてとても大事な人を2人失っています。お二人ともあるスポーツに関わって一所懸命にやろうとしていたのですが、結局、米沢では活躍する場がないということで行かれました。もったいない方を失ってしまったと思っています。そういうことが他の分野でもあるのではないかと心配しています。生涯に渡ってスポーツを続けていくことができるような指導者、そういう団体の役員等の一人一人の心構えが大切だと考えています。

委員長

競技団体や指導者育成の面の課題として大切なことだと思います。ありがとうございました。

委員

スポーツの間口を広げることが一番重要だと考えますので、そこを外さないように考えていただければと思います。中学校の部活動の話が様々ありましたが、学校単位での部活動という今までのあり方でしたが、そこについて考えを改めたほうが良いのではないかと思います。人数が足りないからできないとか、指導できる先生がいないという理由がおそらく多いと思いますが、子どもにとってスポーツだけを理由に学校を選べるわけではないので不幸なことだと思います。それではスポーツ少年団に行けば良いのかという単純な話でもないと考えております。部活動におけるスポーツの性質とスポーツ少年団におけるスポーツの性質は若干違うものと思います。学校の部活動で特に重要なのはスポーツそのものを楽しむところが中心で、スポーツ少年団はより技術の向上やより上を目指すということが主眼になってくるのではないかと思います。そうになると、単純にスポーツを楽しみたいという子ども達のために学校という枠を

考えずに部活動をできないかということに取り組んでいただければと思います。それから質問ですが、施策の中でプロスポーツ等の観戦による「観る」機会とありますが、具体的にどういったことを想定されているのでしょうか。

スポーツ課長 平成27年に二軍戦ですが、楽天対巨人戦がありました。モンテディオ山形については、各市町村が支援しているということで、その試合を観に行くというような事業を展開していきたいと考えています。

委員 ありがとうございます。基本的に観る機会という時に試合を誘致しようというところでいくと、開催基準を満たす施設がない現状ですので無理だと思います。そうすると連れて行くということだと思います。野球について、二軍戦が悪いということではありませんが、ここに書いている趣旨が本物に触れるということであれば、一軍の試合を観に行くことになってくるのではないかと考えられます。仙台にいくとか、年に1回山形に来ますので、そういったところを観せる機会となってくると思いますので、そういった前提でお考えになるということであれば、このまま残しておいて良いと思います。

委員長 ありがとうございます。他によろしいでしょうか。多くのご意見やご質問ありがとうございます。続いて(3)のその他に移ります。委員の皆様から何かございますでしょうか。では、事務局からお願いします。

教育総務課長 資料6をご覧いただきたいと思います。振興計画の策定スケジュールでございます。

———資料により説明———

委員長 事務局から今後の日程等の提案がありました。何かご質問等ありますでしょうか。では協議を終了させていただきます。ありがとうございました。

教育総務課長補佐 委員長、ありがとうございました。次第の3ですが、委員の皆様から何かございますでしょうか。以上で第3回検討委員会を閉じさせていただきます。委員の皆様、長時間に渡り大変ありがとうございました。